

オダダサク

わが友

作 北村想 / 演出 深津篤史 (桃園会)

世知辛い時代を
無頼で生き抜いた、
作家・織田作之助、
大阪浪漫の夫婦善哉。

六日(土)開演

2012.
11 / 2 Fri. ~ 11 / 4 Sun.

平成24年度(第67回)文化庁芸術祭参加作品
舞台芸術による「ことば文化」推進事業
〈北村想の座標／現在〉
AI·HALL + DIVE 共同製作

戦前戦後の文学界に「無頼派」と称される作家が在った。坂口安吾、太宰治、そして織田作之助である。

安吾と太宰は全国的にもはやされ、いまに読み継がれる作品も多いが、織田作之助は『夫婦善哉』があるのみで、多くの斬新な文学や評論を知る人は少ない。また、太宰や安吾に比して、その人間像もあまり表に現れることがナイ。『オダサク、わが友』は、この大阪の無頼派、織田作之助にspotlightをあてた作品である。

平成24年度(第67回)文化庁芸術祭参加作品

オダサク、わが友

作 = 北村想 / 演出 = 深津篤史(桃園会)

舞台芸術による「ことば文化」推進事業 (北村想の座標/現在) AI・HALL + DIVE共同製作

太宰治の『織田君の死』(新潮文庫「もの思ふ草」所収)はこう始まる。「織田君は死ぬ気でいたのである」のボディ。そして、「世のおとなたち(中略)は、したり顔の批判を与えるかも知れないが、そんな恥知らずの事はもう言わない」とワンツーの連打。さらに「織田君を殺したのは、お前じゃないか」と、カウンターが一発きて、「織田君!君は、よく、やった」のアップで終わる。短文だが、太宰の思いの丈はいい尽くされている。私も他にいうことはナイ。おそらく盟友、川島雄三もまた同じ気持ちであったに違いない。サヨナラだけが人生でもナイ。哀しみもまたさだめの人生だ。

北村想 劇作家・小説家・エッセイスト。『十一人の少年』で第28回岸田國士戯曲賞、『雪をわたって...第二編・月のおかるさ』で第24回紀伊國屋演劇賞個人賞などを受賞。

過去の私に一言だけ声をかけられるとしたら、二十数年前の演劇の世界の地べたを這いずっていた私に、ずいぶん先になるけど君はいつか北村想さんの新作を演出することになるよって言ってあげたい。芝居をやめて音信不通になった大昔の友人に一個だけ自慢していいって言われたら、想さんの新作演出するねんって言いたい。私にとって想さんはそういう人だ。オダサクはそういう作品だ。未だに面と向かってうまく喋れない。うまく喋れないので演出がんばりますね。

深津篤史 桃園会主宰、劇作家・演出家。『うちやまつ』で第42回岸田國士戯曲賞、第13回読売演劇大賞優秀演出家賞など、受賞多数。

出演

青山祥子 / 石塚博章 / 大森一広
小笠原 聡 / 小野亮子 / 亀岡寿行
久保田智美 / 阪田愛子 / 佐藤あい
神藤恭平 / 得田晃子 / 中村京子
はしぐちしん / 濱 奈美 / 速水佳苗
福良千尋 / 橋本健司 / 長谷川一馬
原 綾華 / 丸山英彦 / 南 勝

(北村想の座標/現在)

『好歌』(1979年)で演劇界に衝撃を与えた北村想。爾来、三十年以上にわたって現代演劇の前線を書きつづけ、その執筆本数はおよそ200作品にも及びます。〈北村想の座標/現在〉は、これまでの代表作ではなく、2000年代に発表した作品を取りあげ、今なお現在進行形で進化する北村想の近年の試みを再検証する企画です。

日時 | 2012年 11月 2日[金] 19:30
3日[土] 15:00 & 19:30
4日[日] 11:00 & 15:00

受付開始・入場整理券発行は開演の45分前、開場は開演の30分前。

料 金 | 一般前売 3,000円 一般当日 3,500円
学生前売 2,000円 学生当日 2,500円(要学生証)
【日時指定・全席自由】※未就学児童のご入場はご遠慮ください。



チケット取扱 | DIVE事務局 メール diveosaka@gmail.com
WEB予約 http://www.ocpa-dive.com/
アイホール TEL 072-782-2000 メール info@aihall.com
※前売券は、アイホールの事務所窓口でご購入いただけます。

お問い合わせ | DIVE事務局 TEL 06-6211-5995 メール diveosaka@gmail.com
URL http://www.ocpa-dive.com/

アイホール TEL 072-782-2000(火曜日休館)
メール info@aihall.com URL http://www.aihall.com

会場 | AI・HALL (伊丹市立演劇ホール)
〒664-0846 伊丹市伊丹2-4-1 TEL 072-782-2000



JR宝塚線(福知山線)「伊丹」駅下車西側すぐ
阪急伊丹線(神戸線「塚口」駅より乗換)「伊丹」駅下車、東へ徒歩約7分

スタッフ

舞台監督:久保克司 / 舞台美術:池田ともゆき / 照明:葛西健一 / 照明操作:池辺茜
音響:大西博樹 / 音楽:ノヤママナコ / 歌唱指導:塩崎有妃子 / 衣裳:はたもとようこ
映像製作:サカイヒロト / 宣伝美術:清水俊洋 / 制作協力:尾崎雅久 / 演出助手:中村賢司、高橋恵

協力

桃園会、大人計画、劇団ひまわり、コンプリ団、空の驛舎、劇団@太陽族、DanielLonely、デス電所、Blue,Blue、虚空旅団、(株)スタッフステーション、TANCI池田意匠事務所、マナコプロジェクト、尾崎商店、シバイエンジン

平成24年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



著作権認可番号 ©So kitamura2012 No.17 小堀純事務所
【初演】DIVE×メイシァター合同プロデュース SHOW 劇場 Vol.5 2011年3月

